

履修申告科目確認表の送付について

過日の履修申告について、履修調整・エラーチェックを行った結果を学事Webシステムの「登録済科目確認」画面に反映しましたので確認してください。

特に確認を要する学生には「履修申告科目確認表」を送付します。**確認表に「学事担当窓口に来ること」と印が押されている場合は、必ず学生部経済学部担当窓口にて修正・手続を行ってください。なお、修正を受け付けるのは下記のメッセージが出ている場合のみです。自由な履修追加はできません。**

履修取消を希望する場合は、履修案内 p.29に記載の期間に学事Webシステムから申請してください。

修正期間 : 5月8日まで ※受付時間 8:45-16:45
場所 : 三田学生部 経済学部担当窓口
必要書類 : 学生証、履修申告科目確認表

(注意)履修不備がある場合、本年度の履修申告全体が無効となる場合があります。

修正期間終了後は確認が終了したものとみなします。登録されていない科目を受験・受講しても評価の対象とはなりません。

■「履修申告科目確認表(登録済科目確認画面)」のメッセージと修正方法について

①「曜日時限重複」

・同時限に複数の科目を登録している場合、他地区との移動が不可能な場合、二時限連続授業との重複など
⇒一方の科目を削除(追加不可)

②「取得済科目申告」

・すでに同じ科目名の科目を取得済で、今年も自由科目以外の分野で履修申告した場合
⇒削除(追加不可)または自由科目(卒業所要単位に含まれない)に変更

③「同一科目申告」

・同じ科目名の科目を同じ分野で履修申告した場合
⇒削除(追加不可)または自由科目(卒業所要単位に含まれない)に変更

④「再履修」

・(原級者のみ)同一学年で取得済の科目を再履修した場合(参考:履修案内 p.39 相殺制度)
相殺された評語が低い方の科目は無効になるので、単位計算に注意してください。

⑤「学年条件不備」

・研究会の学年を間違えて履修している、または履修不可の大学院の科目を履修している場合
⇒正しい学年に変更、大学院科目は削除(追加不可)

⑥「不許可」

・履修制限等で履修できない科目です。**不許可となった科目は自動的に削除されます(修正申告不要)。**

※抽選により不許可となった場合は、その単位数分だけ追加申告する事ができます。追加申告を希望する場合は修正期間に申し出てください(追加可能科目は履修案内p.28参照)。秋学期に自身で追加できる科目(履修案内p.29参照)は秋のWeb履修修正期間に申告してください。

なお、履修に必要な手続きを怠ったことによる不許可の場合は、追加申告を認めません。

例)履修に必要な初回授業の出席や、課題提出をしなかったための不許可

・「体育実技」で、許可証を受け取らなかったための不許可 等

⑦ **メッセージ欄**

上記以外の修正が可能な場合、学生部で修正を行った場合は確認表(または登録済科目確認画面)の下部にメッセージが表示されます。確認の上で必要があれば修正を申し出てください。

● **主なメッセージ**

※メッセージと共に書かれている番号は対象となる科目の登録番号です。

メッセージ	詳細説明	備考
【不備あり】	必ず修正、または手続が必要な科目です。	至急三田学生部経済学部担当窓口までお越しください。
未取得の場合、●●科目(A欄)に修正可。	経済学部設置の科目なので、未取得の場合はA欄(分野は●●科目)に修正する事ができます。	修正希望者は期間内に三田学生部経済学部担当窓口までお越しください。
未取得の場合、関連科目に修正可。	他学部の専門科目なので、未取得の場合は関連科目に修正する事ができます。	
法律学科科目としてなら関連科目として履修可。	法律学科の登録番号を使用した場合、関連科目の単位に含めることができます。	
他学部専門科目は関連科目(B欄51)で申告。	他学部専門科目のB欄選択にミスがありました。	学生部で不備を修正しました。 窓口で修正申告する必要はありません。 次回以降は履修案内を熟読し、不備のないように注意してください。
他学部3年研究会はB欄54で申告。 他学部4年研究会はB欄55で申告。	文・法・総合政策・環境情報学部研究会のB欄選択にミスがありました。	
3年研究会は自由科目として履修。 4年研究会は自由科目として履修。	文学部研究会は3年生が履修するIII,IV、4年生が履修するI,IIは自由科目になります。	

以上